

令和7年度の収入支出決算

健康保険

令和7年度は一般勘定の経常収支で326,640千円の赤字となりました。
保険料収入は、賃上げなどの影響から平均標準報酬月額が上昇したことにより、増加しました。
支出においては、医療費や傷病手当金等の保険給付費は増加しており、被保険者一人当たりで前年比3.8%増加しました。
また、高齢者医療制度への納付金・支援金は、被保険者一人当たりで前年比21.3%と大きく増加しました。
なお、決算残金は準備金からの繰入れにより、329,625千円となりました。

主な収入

健康保険収入

被保険者のみなさんと事業主から納めていただいている健康保険料です。
6,043,935千円で、収入全体の89%を占めています。

主な支出

事務費

当健康保険組合事務局の運営にかかる諸経費と組合会関係費で87,429千円で、支出全体の1.4%でした。

保険給付費

みなさんやご家族の方が病気や怪我をしたときの医療費の他、傷病手当金・出産育児一時金といった各種現金給付等に充てられる費用です。3,207,881千円で、支出全体の49.6%を占めております。

納付金

高齢者医療制度に拠出するための支出で、2,827,373千円でした。

★前期高齢者納付金(65～74歳までの方の医療費を支えるために)

★後期高齢者支援金(75歳以上の方が加入する後期高齢者医療制度へ)

これらは支出全体の43.7%となり保険給付費と合わせると支出全体の93.3%を占めております。

保健事業費

人間ドック等健康診査や保健事業を中心とした費用では、259,014千円で支出全体の4%でした。

介護保険

当健康保険組合が国に納付する介護給付費が529,404千円となっており、決算残金は6,107千円となりました。

決算残金処分

一般勘定

●準備金繰入	329,188千円
●令和8年度繰越金	300千円
●財政調整事業繰越金	137千円

介護勘定

●準備金繰入	6,107千円
--------	---------

今後も、医療費の適正化をはじめ、健康診査や保健指導などデータヘルス事業による効果的な保健事業や健康経営優良法人への認定サポートなど、事業所や加入者の皆さまのご協力のもと、保険者機能を十分に発揮できるよう一層の取り組みを行ってまいります。
引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。